

# 2023年一般社団法人ワンウェルフェア 行政職等向け勉強会 福祉・動物職の連携と個人情報保護



テーマ「福祉・動物職間の連携に必要な個人情報の理解～事例からみる例外規定の活用と留意点～」



- \* 講義内容や資料の転用はご相談ください
- \* 個人での録画や撮影は事前にご相談ください
- \* 質問は質疑応答の時間やアンケートにてお受けします

## 1. 講師紹介 細川敦史氏

講師紹介：弁護士（兵庫県弁護士会。2001年登録）。  
NPO法人どうぶつ弁護団理事長、動物の法と政策研究会会長。  
一般的な民事・家事・刑事事件に取り組む傍らで、ペットに関する現場の事件や裁判に関わり、動物愛護法の不備についてシンポジウム・講演やインターネットで発信する等、動物の法律問題について幅広く活動している。朝日新聞社のペット情報サイト「sippo」で「おしえて、ペットの弁護士さん」を定期連載中



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



事例は創作を施し加工の上提示いたします。



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



1.

事例) 60代前半の生活保護受給者の男性が多頭飼育崩壊・動物虐待の状態になっているとの相談を受けた。檻の中で6匹の猫を閉じ込め、不衛生でエサも満足に与えず猫が痩せ細っているとの内容。保護費の中で十分なエサを買えず、男性自身も生活に困っている可能性やセルフネグレクトの可能性も考えられた。そこで男性と接点がある福祉事務所に支援のための連携を図る目的で電話したが、個人情報保護のためお答えできませんと言われた。やむなく、こちらが受けた相談内容を伝えて確認や必要な支援などの対応を依頼したが、それへの返答はなく、とりあえず聞きましたというような態度だった。

質問) このような時に「個人情報保護の壁」を突破するような言い方はないか。また、福祉事務所職員は動きたくないから「個人情報保護」を盾にしているようにも感じられたがそのような場合の対応方法はないか。

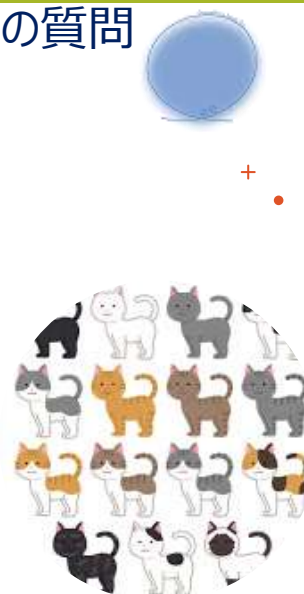


## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問

2.

事例) 独居の80代女性が多頭飼育崩壊・ごみ屋敷状態で、最近の言動からもしかしたら認知症かもしれないという情報が近所の人から相談機関に寄せられた。その女性とつながりのある動物愛護推進員に連携のために電話で相談。地域包括等の他機関とも相談してから動く予定であることを伝え、動物愛護推進員にはこの件は個人情報保護のために他者には一切漏らさないことを約束してもらった(口約束)。しかし、動物愛護推進員が後日その女性とお茶飲みした時に、「あなたが認知症かもしれないという相談があつたらしい」とバラしてしまった。「誰がそんなことを言ってるの!」と怒った女性は相談機関を訴えると言い出した。

質問) 相談機関と動物愛護推進員、それぞれどの程度の責任や罪に問われるのか。また、動物支援関係者は、動物を対象としていることから福祉職と違って個人情報保護の教育に触れる機会がほとんどない。今後、動物支援関係者と福祉職が連携して動物と飼い主の支援にあたるために、動物支援関係者に個人情報保護のことをどのように伝えるのが良いか。

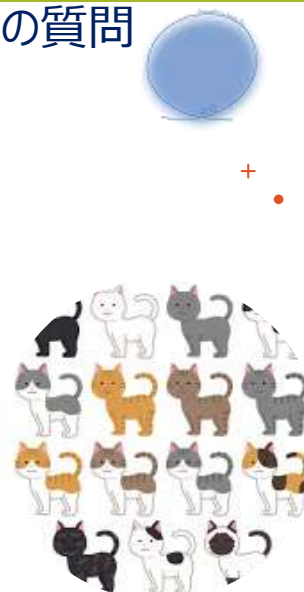


## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問

3.

事例) 動物ボランティアの女性高齢者から多頭飼育崩壊の案件についてメールで相談が寄せられた。多頭飼育崩壊になっている本人の情報だけではなく、関わっている動物ボランティアや近所の人などについてもフルネームや年齢、住所、電話番号、家族構成などの不必要な個人情報をどんどん書き込んでくる。相談機関としては他には情報は出さないが困惑してしまった。

質問) 動物ボランティアの女性高齢者が本人の同意なしに支援が必要な当事者以外の個人情報を流していたのだとしたらどのような罪に問われるか。



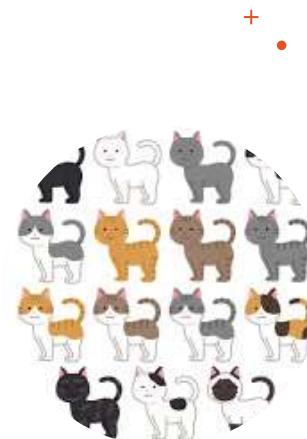
## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



4.

事例) 保健所は近所の苦情から猫の多頭飼育崩壊に陥っている50代男性を把握。保健所は動物愛護団体に対応を依頼したところ、動物愛護団体は男性のことを告発。男性は保健所を個人情報保護法違反、動物愛護団体を名誉毀損で訴えた。

質問) 保健所と動物愛護団体はどのような責任や罪に問われるか。



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



5.

事例) 上記事例において強制退去命令を受けた男性が自殺。男性の親族から情報を漏らした保健所と告発した動物愛護団体を裁判に訴えた。

質問) この場合のリスクと未然のマネジメントは？



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



6.

事例) 経済的理由から不妊去勢手術ができず猫の多頭飼育崩壊となった70代女性独居に関わった動物愛護団体がこの方の娘に連絡し、費用の捻出を依頼した。娘は驚いて、母を責め立てた。そのことで自尊心が傷ついたこの女性は情報を漏らしたと動物愛護団体を訴えた。

質問) この場合のリスクと対策、未然防止策について



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



7.

事例) 近所の女性から地域包括支援センターに相談があり、猫の多頭飼育崩壊になっている認知症っぽい男性高齢者がいて心配なので支援してあげてほしいと依頼された。地域包括支援センターの職員が男性宅を訪問したところ、自分のことはどうして知ったのかと聞かれたため、職員はつい相談者である近所の女性の名前を言ってしまった。男性は近所の女性宅に押しかけて「余計なことを言うな！」と怒鳴ったりしてトラブルに発展。近所の女性は地域包括支援センターが情報を漏らしたからこうなると告訴した。

質問) 地域包括支援センターと職員はそれぞれどの程度の責任や罪に問われるのか。



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



8.

問題を抱えた人について教えてくれる人がいる

・どこまで教えてもらっているのか、もし行政や機関が動いたりしたときに後々相談者と当事者でトラブルにならないか。また、相談機関としてはそのような相談でどこまで対応してよいのか。そのリスクとマネジメントは？



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



9.

大きな譲渡会があるが審査が厳しくて若い独身男性が申し込むと断られることもあり、年収などでも断られる。そのためトラブルになっているケースもある。詳細な審査はどこまで許容してよいのか。また、審査をどのようにするのが適切なのか。



## 2. ワンウェルフェア個人情報セミナーについての質問



10.

動物部局から福祉部局に飼い主の情報について情報提供依頼をした際に個人情報の問題があると情報を出し渋られた際の対応について

+

.



## ワンウェルフェア作成 連携ツール2019

人間・動物福祉連携ツール

目的: 動物部局と福祉部局との連携促進		作成者: 動物部局・福祉部局	
更新日: 2019年10月1日		適用範囲: 動物部局・福祉部局	
個人情報の取り扱い	個人情報の取り扱い	個人情報の取り扱い	個人情報の取り扱い
目的	動物部局と福祉部局との連携促進	目的	動物部局と福祉部局との連携促進
関係者	動物部局、福祉部局	関係者	動物部局、福祉部局
背景	動物部局と福祉部局との連携促進の必要性	背景	動物部局と福祉部局との連携促進の必要性
目的	動物部局と福祉部局との連携促進	目的	動物部局と福祉部局との連携促進
範囲	動物部局と福祉部局	範囲	動物部局と福祉部局
定義	動物部局: 動物の飼育・管理を行う部署 福祉部局: 高齢者の生活支援を行う部署	定義	動物部局: 動物の飼育・管理を行う部署 福祉部局: 高齢者の生活支援を行う部署
関係性	動物部局と福祉部局は連携して動物の飼育・管理を行う。	関係性	動物部局と福祉部局は連携して動物の飼育・管理を行う。
連携内容	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供	連携内容	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供
連携方法	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供	連携方法	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供
連携頻度	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供	連携頻度	動物部局から福祉部局へ: 動物の飼育・管理に関する情報提供 福祉部局から動物部局へ: 高齢者の生活支援に関する情報提供
連携ツール	動物部局と福祉部局との連携促進のためのツール	連携ツール	動物部局と福祉部局との連携促進のためのツール
連携効果	動物部局と福祉部局との連携促進	連携効果	動物部局と福祉部局との連携促進
連携課題	動物部局と福祉部局との連携促進の課題	連携課題	動物部局と福祉部局との連携促進の課題
連携改善	動物部局と福祉部局との連携促進の改善	連携改善	動物部局と福祉部局との連携促進の改善



# まとめ



気づき



思いやり



連携



人と動物の問題を考える合言葉



## 10. 参考文献

- ・都内の高齢者世帯におけるペット飼育の実状と課題について～多頭飼育崩壊の状況～ 東京都福祉保健局 動物愛護相談センター飼養相談担当 新田祐輔
- ・厚生労働省ホームページ
- ・東京都福祉保健財団 東京都高齢者権利擁護センター研修資料
- ・環境省ホームページ 動物愛護管理法
- ・総務省報道資料2021.5.4
- ・2020年12月23日一般社団法人 ペットフード協会調査
- ・「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」 <https://www.env.go.jp/press/109357.html>
- ・ためこみ症とは？【無秩序かつ過剰な収集、廃棄に対する嫌悪・整頓の欠落などを特徴とする強迫性障害】No.489a(2018年03月17日発行) P.58日本医事新報社 向井善一郎 (兵庫医科大学精神科神経科学講座)
- ・ [https://www.my-kokoro.jp/books/research-aid-paper/vol49\\_2013/pdf/mykokoro\\_research-aid\\_paper\\_49\\_13.pdf](https://www.my-kokoro.jp/books/research-aid-paper/vol49_2013/pdf/mykokoro_research-aid_paper_49_13.pdf)ためこみと児童思春期に発症する精神疾患の関連についての疫学的研究 中尾智博他
- ・社会福祉学評論 第18号2017 26【論文】不適切な居住環境（いわゆるゴミ屋敷）における高齢者の様相—2タイプへの分類とためこみ行動に着目した検証—河合美十代
- ・「DSM-5精神疾患の診断・統計マニュアル」医学書院2014
- ・ICD-11 5 Obsessive-compulsive or related disorders 強迫症または関連症群
- ・2011年vol.28、30 ヒトと動物の関係学会シンポジウム 資料「多頭飼育」問題を考える 横山章光

- ・2007年3月25日号 最新精神医学 (A4,6ページ) 「動物への虐待」横山章光
- ・Hoarding of animals 1999 Patronek G.J
- ・ゴミ屋敷と広汎性発達障害 2009 細川雅人
- ・横山章光・古荘純一 成人期アスペルガー症候群と多頭飼育の関連についての考察 臨床精神医学 2010
- ・ワンウェルフェアオンラインセミナー2021年度第5回「災害時のペット問題と連携」岩浪真紀
- ・コトバンク <https://kotobank.jp/word/%E5%B0%8A%E5%8E%B3-555826>
- ・人や家族の尊厳 <http://www.jsssw-kanto.jp/assets/files/newhyouron/5/hukuyama.pdf>
- ・人や家族の尊厳 福山和女 日本社会福祉学会 <http://www.jsssw-kanto.jp/assets/files/newhyouron/5/hukuyama.pdf>
- ・支援困難事例と向き合う—18事例から学ぶ援助の視点と方法 岩間 伸之 2014 中央法規
- ・リ・アセスメント支援シートを活用したケアマネジメント事例集 公益財団法人 東京都福祉保健財団
- ・事例でわかる!愛着障害—現場で活かせる理論と支援を ほんの森出版 米澤好史 2020
- ・園部逸夫編、2005、『個人情報の保護法の解説〈改訂版〉』、ぎょうせい
- ・個人情報の保護に関する法律等の概要 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/shingij/2004/06/s0623-15g.html>
- ・内閣府 合理的配慮の例 <https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/jirei/>





# (一社) ワンウェルフェアとは

多頭飼育崩壊をはじめとした人と動物の問題について

動物愛護職と福祉職が集まって考える会。

ワンウェルフェアは「人と動物の幸せはつながっている」の意味。

きっかけは「多頭飼育崩壊は動物問題というよりも人間の問題!？」との

動物関係者からの問題提起から。

多頭飼育崩壊等の事例検討や調査研究提言、連携アセスメントシート作成、フローチャート作成、ためこみ症研究、人と動物の問題に関わる国の動きや法制度等についての情報共有、動物愛護職と福祉職の同行訪問、相談支援、普及啓発などを実施。

2019年3月に任意団体として発足。令和3年2月22日一般社団法人へ移行し、普及啓発やネットワーク構築、動物職+福祉職の訪問・相談活動を始動。



## 理念

この法人は、人と動物の幸せを実現するために、両者が関わる問題から課題を調査・研究し、未然予防や再発防止の取り組みをすることを目的とする。

## 価値観

- ・人と動物の尊厳の保持
- ・互いの背景に思いを寄せる
- ・自己責任論で片付けない
- ・お互いの自由を認めること
- ・社会的弱者を支えること



## 行動指針

- ・多様性尊重とその教育
- ・多様な経験の機会づくり
- ・人と動物の問題を通して声を掛け合える地域を再生
- ・いじめや孤立、排除からの解放
- ・「苦しみをもつ人」と「つらい状況にある動物」の支援を实践
- ・実践の理論化
- ・声なき声を拾うこと
- ・多様性尊重と地域再生、実践及び理論化のスパイラルを循環
- ・関係機関・団体等との連携・協働



# ワンウェルフェア作成 ペットと飼い主の異変 チェックシート2022

**One Welfare check sheet**  
ペットの異変の早期チェックシート見本  
**チェックシート配布中**

環境省発行  
人、動物、地域に向合う多機関連携ガイドライン  
～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～  
令和3年3月 環境省動物愛護管理室

※ガイドラインは環境省ホームページからダウンロードできます。  
冊子で掲載できないような情報の中に、  
大きなお気遣いになってもらう事もあります。  
社会福祉と動物愛護管理の連携し合い、新もって課題を改善、  
さまざまな問題をすすめるためのチェックシートです。

**社会福祉が動物と人を救う**

**人とpetをつなぐ福祉**

※チェックシートと参考資料はA4サイズ、白黒印刷10頁です。  
※ホームページからダウンロードできます。コピーしてお読みください。

一般社団法人ワンウェルフェア  
2022年1月15日～1月17日



## 動物問題 LINE相談

### 随時対応

1週間ほどかかる場合有

<https://lin.ee/TqSXCbn>

秘密厳守、相談無料。

<相談例>

- 一般：飼育しきれない数の動物を飼っている人が地域にいる、猫を捨てている、etc
- 福祉職：訪問したお宅の猫が前回より増えている、訪問したお宅に去勢された野良猫が捨てられた、etc
- 動物関係者：多数の猫を保護しているという依頼が来なくなっている、etc



**GO HAPPY**

LINE

ワンウェルフェア  
動物問題LINE相談

### SAVE THE ANIMAL \* HUMAN

動物問題とその背景にある人の問題を考えます。  
ご訪問・一般、福祉職、動物関係者、などから  
人の福祉と動物福祉の両方に貢献したいです。

- 一般：飼育しきれない数の動物を飼っている人が地域にいる、猫を捨てている、etc
- 福祉職：訪問したお宅の猫が前回より増えている、訪問したお宅に去勢された野良猫が捨てられた、etc
- 動物関係者：多数の猫を保護しているという依頼が来なくなっている、etc

毎月第一月曜日 15～19時 (7:30 受付終了)

気づき 思いやり 連携  
一般社団法人ワンウェルフェア  
<https://www.wan-wel-fair.org/>  
LINE: <https://lin.ee/TqSXCbn>



# 動物問題 対策研修

## 随時受付中

※返信に1週間程度かかることがあります。  
LINEからお問い合わせください

<https://lin.ee/TqSXCbn>

- 早期発見・対応、再発防止を目指した研修です。
- 行政、保健所、社協、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、民生委員、ヘルパー、動物愛護推進員などに知っておいてほしい知識を学びます。



一般社団法人 ワンウェルフェア One Welfare Association Inc.

### 動物問題対策研修 assessment essential

For the happiness of humans and animals

**研修依頼受付中!**  
脅威からアセスメントのポイント、対策まで

**STARTS AT HEART**

**CREATIVE SOCIAL WORK**  
動物愛護の現場で働く社会福祉士、動物愛護ボランティア、動物愛護活動の推進者、動物愛護活動の推進者、動物愛護活動の推進者

多頭飼育崩壊、適正な管理が難しい、野良猫群中り、住居管理、生活保護と動物飼育、ペット不可住宅、入居一拒否で動物が預けられる、処してまで野良猫の「救済」...

**セルフチェック**  
認知機能低下はありませんか?  
 動物の行動が変化する  
 認知機能低下の兆候がある  
 認知機能低下の兆候がある  
 認知機能低下の兆候がある  
 認知機能低下の兆候がある

**GET IN TOUCH**  
 Email: [info@one-welfare.jp](mailto:info@one-welfare.jp)  
 Web: [www.one-welfare.jp](http://www.one-welfare.jp)  
 Phone: 03-5561-0000

動物愛護推進員養成研修  
動物愛護推進員養成研修  
動物愛護推進員養成研修



一般社団法人 ワンウェルフェア

### 精神科医によるQ&Aセミナー 多頭飼育崩壊やごみ屋敷 の背景とは?

**先着80名様**  
(事前申込制)

[日 時]\*\*\* 3月18日(土) 17:00~19:00

[方 法]\*\*\* オンライン(ZOOM)

[参加費]\*\*\* 1000円

※多頭飼育崩壊やごみ屋敷の背景となる認知症、精神疾患、発達障害について  
※決着や謝り方のポイントについて などを質疑応答形式で進めていきます

講師 **まいわけクリニック 院長 横山 章光氏**  
精神科医(精神科医補任医)、精神科専門医、産業医科大学、東京医科大学、神奈川大、和歌山大学、群馬県立大学校を歴任。産業医科大学社会福祉学部で臨床心理士の資格取得。動物やペットを飼育する人への研究、啓蒙を行う。人と動物の関わり学会理事、人と動物の心理的関係についての臨床実践。著書に『アニマルセラピーとは何か』(NHK出版、2009)、『言葉でつなぐ動物と人』(エッセイ、2010)、『動物と人との関係』(エッセイ、2011)、『動物と人との関係』(エッセイ、2012)、『動物と人との関係』(エッセイ、2013)、『動物と人との関係』(エッセイ、2014)、『動物と人との関係』(エッセイ、2015)、『動物と人との関係』(エッセイ、2016)、『動物と人との関係』(エッセイ、2017)、『動物と人との関係』(エッセイ、2018)、『動物と人との関係』(エッセイ、2019)、『動物と人との関係』(エッセイ、2020)、『動物と人との関係』(エッセイ、2021)、『動物と人との関係』(エッセイ、2022)、『動物と人との関係』(エッセイ、2023)、『動物と人との関係』(エッセイ、2024)、『動物と人との関係』(エッセイ、2025)

お問い合わせはホームページからお問い合わせください  
Eメール: [info@one-welfare.jp](mailto:info@one-welfare.jp)

主催 一般社団法人ワンウェルフェア



## 会員募集

- ・一般社団法人ワンウェルフェアでは一緒に活動する会員を募集しています
- ・メリット：定例会への参加（事例研究）、情報配信、ボランティア参加等
- ・会費：年3000円
- ・ご希望の方は以下より①氏名②住所③メールアドレス④電話番号⑤所属を記入の上、申してください

<https://awn.sub.jp/onewelfare/>



## 寄付募集

- ・一般社団法人ワンウェルフェアでは寄付を募集しています。  
主に以下の事業に活用させていただきます。
- ・相談事業、普及啓発事業の周知（チラシ作成と配布）、各種講座・研修資料作成、講師料、会場費、オンライン使用料、事務経費、相談員人件費、交通費、保険料、そのほか事業に関わる経費など
- ・申込はこちらから：<https://congrant.com/project/onewelfare/3066>



## お願い

- ・資料の活用の際はこちらへご連絡ください。  
[one.welfare.assoc@gmail.com](mailto:one.welfare.assoc@gmail.com)

終了後アンケートにご協力ください  
3月31日までに送信をお願いします。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSflCHZ9TrzSgJhVFrUpb7ldfb6kipd1WxrZV8klmPg-fq6z7g/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSflCHZ9TrzSgJhVFrUpb7ldfb6kipd1WxrZV8klmPg-fq6z7g/viewform?usp=sf_link)



ご清聴ありがとうございました